2019年度（令和元年度）

事 業 報 告 書

自　2019年4月１日
至　2020年3月31日

公益社団法人日本ボート協会

Ⅰ　事業報告概要

今年度も、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き着実に実現するため、定款に定める以下の各事業を実施した。しかしながら、年度末に発生した新型コロナウイルスの影響により、強化を中心とした活動に計画の変更を余儀なくされた。

1.「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」に関する事業

今年度は従来の普及策に加えパラローイングの普及も含めた推進策を展開した。また、都道府県ボート協会ならびに全国ボート場所在市町村協議会と連携し、2020東京オリンピック・パラリンピック大会事前キャンプ誘致およびその環境整備を行った。また、次期オリンピックの新種目の可能性の高いコースタルローイングの普及を目的に、普及本部内にコースタルローイング委員会を新設し活動を開始した。

2.「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」に関する事業

2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、2019年世界選手権大会における出場権獲得を最重要目標として取り組んだが達成できなかった。また、2020年4月以降の出場権獲得のための大陸予選および最終予選が中止となったことにより代表選手選考を中断した。一方、タレント発掘育成事業およびジュニアからシニアまでの一貫した国際競技力向上を目標とした強化活動を継続するとともに、3年目を迎えるJOCエリートアカデミー事業にも引き続き参画した。

3.「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」に関する事業

今年度は、従来個別に開催していた全日本軽量級選手権を全日本選手権に統合して実施した。また、新型コロナウイルスの影響により全国高等学校選抜大会を中止したことにより、9大会を開催した。

4.「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」に関する事業

前述の通り残念ながら今年度での、2020東京オリンピック大会の出場権獲得には至らず次年度以降に持ち越しとなったが、軽量級女子シングルスカルで世界選手権では女性初となるメダル（銀メダル）を獲得した。また、U23およびジュニア（U19）を含め世界選手権、アジア選手権他国際大会に積極的に派遣した。パラローイングにおいても、2020東京パラリンピック大会の出場権獲得を目標に活動したが、出場権獲得はならず次年度に持ち越しとなった。

5.「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」に関する事業

本会100周年記念事業の一つである国際競技力向上対策の一環として競漕規則改定を行い、2020年4月から適用を開始した。また、関連規則や諸規定を整備した。加えて、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会およびコース管理自治体等と協力して8コースについて行った。

6. 「その他の重要な事業」

5月末に完成したオリンピック・パラリンピックの会場となる「海の森水上競技場」において、6月に「海の森水上競技場完成記念レガッタ」を実施した。また、8月にはオリンピックのテスト大会として「2019世界ジュニア選手権大会」を東京都ボート協会と共に本会主管にて開催し、世界51ヶ国、選手609人が参加し成功裏に開催することができた。

また、今年度スポーツ庁が新たに制定したNFガバナンスコードに沿い、更なるガバナンスの体制整備に着手した。

Ⅱ　事業報告内容

１．競技本部関係事業

（１）競漕大会開催並びに競技者に関する事業

①　競漕大会開催について

・今年度は主催大会として以下の9大会を開催したが、3月20日～22日静岡県浜松市天竜ボート場で開催予定であった「第31回全国高等学校選抜大会」は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

・また、全日本軽量級選手権については、全日本選手権に軽量級種目を統合して実施した。

開催期日	大会名	開催地・コース
5月23日（木）～26日（日）	第97回全日本選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
6月1日（土）～ 2日（日）	第12回全日本マスターズレガッタ	大阪府高石市 府立漕艇センター
7月6日（土）～7日（日）	第69回全日本社会人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
7月20日（土）～21日（日）	第39回全日本中学校選手権競漕大会	岐阜県海津市 長良川ボートコース
8月17日（土）～20日（火）	第67回全日本高等学校選手権競漕大会	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場
9月5日（木）～8日（日）	第46回全日本大学選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
9月7日（土）～8日（日）	第59回オックスフォード盾レガッタ	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
10月4日（金）～7日（月）	第74回国民体育大会ボート競技会	茨城県潮来市 潮来ボートコース
10月25日（木）～28日（日）	第60回全日本新人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース

②　全国マシンローイング大会開催

・今年度は全国各9ブロックのA大会および23場所のB大会を開催し、男子2,950名、女子1,297名の合計4,247名の参加となった。

・2019年度大会の成績優秀者については、アジアインドア選手権大会に派遣する計画であったが、新型コロナウイルスの影響で大会が延期となったため派遣を取りやめた。

③　競技団体及び競技者について

・競技者規定に基づき、2019年度の競技団体および競技者の資格決定を行った。

・2019年度の競技団体および競技者登録を行った。登録状況は以下のとおり。

・団体数：536団体　※対前年9団体増

内訳：大学111（20.7%）高校224（41.8%）一般177（33.0%）
高専中高一般6（1.1%）

・登録選手数：9,074名（男子：6,098名　女子：2,976名）※対前年213名減

内訳：大学3,069名（33.8%）高校3,899名（43.0%）中学582名（6.4%）
一般1,417名（15.6%）高専46名（0.5%）中高一貫61名（0.7%）

（２）コース認定に関する事業

今年度は以下の7コースの更新認定と1コースについて新規の認定作業を実施した。

・2019年度更新認定コース

都道府県	コース名	級	距離（m）	認定期間
岐阜県	長良川国際ボートコース	A	2,000	2024年7月1日迄
秋田県	大潟漕艇場	B	1,000	2024年6月13日迄
神奈川県	相模湖漕艇場	B	2,000	2024年6月13日迄
岐阜県	川辺ボートコース	B	1,000	2024年7月26日迄
三重県	奥伊勢湖漕艇場	B	1,000	2024年5月8日迄
岡山県	百間川漕艇場	B	1,000	2024年7月15日迄
青森県	新田名部川ボートコース	C	1,000	2024年7月24日迄

・2019年度新規認定コース

都道府県	コース名	級	距離（m）	認定期間
鹿児島県	輝北ダム特設ボートコース	B	1,000	2024年9月12日迄

（３）海の森水上競技場整備に関する事業

・5月の海の森水上競技場の完成に伴い、東京都オリンピック・パラリンピック準備局および2020組織委員会と連携し、6月に「完成記念レガッタ」、8月に「2019世界ジュニア選手権大会」を開催した際、その準備の過程において必要な整備を実施した。

（４）審判に関する事業

① 審判業務

・今年度も本会主催並びに主管大会に審判長はじめ審判員を派遣し大会審判業務を行った。

② 審判員養成事業

・審判員養成を目的に次の研修会と認定試験を行った。

研修会名称	開催時期	開催場所	参加者数
第89回審判員研修会 （B級審判員認定試験併催）	5/23（木） ～26（日）	埼玉県戸田市 「戸田ボートコース」	56名 （B級受験7名）
第90回審判員研修会 （B級審判員認定試験併催）	10/25（金） ～27（日）	埼玉県戸田市 「戸田ボートコース」	56名 （B級受験7名）
NTO研修会	8月	海の森水上競技場	

（５）ルール整備に関する事業

・本会創設100周年記念事業として取り組んできた競漕規則改定について、6月開催の定時総会において「ボート競技に関する基本宣言」並びに「競漕規則の改定」を決議した。

・新規則の施行期日（2020年4月）に向け、本則の改定に加え、細則の改定や関連諸規定の整備も行った。また、各ブロックおよび各都道府県ボート協会と連携して全国の審判に向けた講習会を実施し、その理解と習得に努めた。

２．強化本部関係事業

（１）選手強化に関する事業

今年度は、世界選手権における2020東京オリンピック大会の出場権獲得を最重要課題として以下の基本方針および基本計画により、選手強化事業を実施した。

① 2019シーズン基本方針

競技力、普及、ガバナンスの全ての面で世界の強豪国となり、世界レベルでの大会におけるFinal　A進出クルーを輩出し、究極の目標であるオリンピックでのメダル獲得を実現する。

② 2019 基本戦略

1) 強化メソッドの継続による国際競技力の向上

・年間を通したトレーニングメソッドの確実な実施

・継続的トレーニングの実施

2) 個人レベルの向上とチームスピリットの醸成

・年間を通してのロングボート（シングルスカル・ペア以外のチームボート）におけるトレーニング

・個人のパフォーマンスにおける世界レベルへの到達

3) オープンカテゴリーの強化

4) 一貫強化システムの深化

・タレント・U16・U23・シニアの一貫した強化システム

・JOC エリートアカデミー、J-STAR プロジェクトの有効活用

5) 組織力の強化

・関係諸団体との連携強化

・パラローイングとの連携

・医科学委員会・アスリート委員会との連携

・ボート界における透明性や公平・公正性の向上

・ドーピングのないボート界の維持

・選考システムの深化

・コーチの育成

③ ナショナルチーム（シニア）強化合宿および海外遠征

・国内強化合宿

実施月	事業名	開催地
4月	強化合宿	兵庫県・城崎
6月	強化合宿	岩手県・田瀬湖
11月	強化合宿	埼玉県・戸田
12月	強化合宿	埼玉県・戸田
1月	強化合宿	長野県・木島平
2月	強化合宿	長崎県・本明川

・国際大会派遣および海外強化合宿

時期	事業名	開催地
5月	ワールドカップⅠ	ブルガリア

7月	ワールドカップⅢ	オランダ
7月～8月	強化合宿	フランス・ベレー
8月	強化合宿	フランス・エギュベレット
8月～9月	世界選手権	オーストリア・リンツ

・国際大会の成績　　末尾添付資料参照

（2）タレント発掘、および競技者育成に関する事業

今年度も、JSCくじ助成事業として、地元東京開催の「世界ジュニア選手権」も考慮しつつ以下の事業を推進・深化させた。

① タレント発掘活動（トライアウト）の実施

・今年度も全国各地のタレントコンソーシアムとの連携を深め、常設型、マシンローイング連携型および地域タレント連携型として、また、他 NF 連携型として実施した。

② タレント育成合宿

・今年度も育成環境を U19 カテゴリーから U21 および U23 カテゴリーまで拡大し、長期的ビジョンによるタレント育成を行った。

③ U21・U23育成合宿の実施及び環境の整備

・タレント発掘活動により見出されたタレント発掘選手が、U21/U23カテゴリーに移行し、合宿等による強化を図るとともに、U21・U23世代のためのコーチ・スタッフを配置し、育成環境を整えた。

④ JOCエリートアカデミー事業への継続参画

・今年度は新たに1名が選任され、アカデミー生(EA)計5名の布陣となった。

⑤ U23、およびタレント強化合宿及び海外遠征

・国内強化合宿

派遣月	事業名	実施場所	対象選手
4月	美浜合宿	久々子湖	タレント
5月	小見川/戸田/美浜合宿	小見川/戸田/美浜	タレント
6月	美浜/戸田/海の森合宿	美浜/戸田/海の森	タレント
7月	美浜/戸田合宿	久々子湖/戸田	タレント
8月	美浜/戸田・海の森合宿	美浜/戸田/海の森	タレント
9月	戸田/川辺合宿	戸田/川辺	タレント
11月	戸田合宿	戸田	タレント
12月	有望選手合宿（天竜） 戸田/アジアジュニア直前合宿	天竜/戸田	タレント
1月	木島平/戸田合宿	木島平/戸田	タレント
4月	城崎合宿	城崎	U23
6月	城崎/田瀬湖/美浜/戸田/瀬田合宿	城崎/田瀬湖/美浜/戸田/瀬田	U23
7月	美浜合宿	久々子湖	U23
11月	戸田合宿	戸田	U23
12月	U23・U21戸田/瀬田個別合宿	戸田/瀬田	U23
1月	U23・U21戸田/瀬田合宿	戸田/瀬田	U23
2月	U23・U21戸田個別/瀬田合宿	戸田/瀬田	U23
3月	U23・U21瀬田個別	瀬田	

・国際大会派遣及び海外強化合宿

派遣月	大会名及び合宿名	遠征先	対象選手
5月	ワールドカップⅠ	ブルガリア・プロブティブ	U23
6月	フランス遠征	ミュンヘン・エギュベレット	タレント
6月	デンマーク遠征	デンマーク・ソーレ	U23
7月	U23世界選手権	アメリカ・サラソタ	U23
8月	世界ジュニア選手権	日本・東京	U19
12月	アジアジュニア選手権	タイ・パタヤ	タレント
2月	メルボルン遠征	オーストラリア・メルボルン	タレント
2月	メルボルン合宿	オーストラリア・メルボルン	U23

（3）医科学に関する事業

① 競技用具の審査と検定に関する事業

・本会の規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査および原簿登録に係わる業務を実施。

・第74回国民体育大会および第67回全国高等学校選手権において競漕艇の計測業務を実施した。

② メディカルサポートに関する事業

・2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた事前テストとして、海の森水上競技場で開催された「海の森水上競技場完成記念レガッタ」および「2019世界ジュニア選手権大会」に医師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行った。

・戸田ボートコースで開催された、全日本選手権、全日本社会人選手権、全日本大学選手権および全日本新人選手権に医師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行った。

・国内強化合宿、海外強化合宿および海外大会へ、医師並びにトレーナーが帯同し、選手のコンデショニング維持、改善および指導を行った。

③ ドーピングに関する事業

ア）講習会並びにアウトリーチプログラム（イベントにおける啓蒙活動）の実施

・日本アンチ・ドーピング機構(JADA)と連動し以下の活動を実施した。

［アンチ・ドーピング講習会］

実施日	実施場所	参加者数	対象者
4/20（土）	愛知県・愛知池	13名	中日本レガッタ参加選手および関係者
5/4（土）	滋賀県・琵琶湖	31名	朝日レガッタ参加選手および関係者
9/29（日）	岐阜県・川辺町	95名	岐阜県ボート関係者
12/19(木)	埼玉県・戸田	20名	ナショナルチーム

［アウトリーチプログラム］

実施日	実施場所	参加者数	対象者
5/4(土)～5/5（日）	滋賀県・琵琶湖	445名	朝日レガッタ参加選手および関係者
10/26(土)～10/27（日）	埼玉県・戸田	261名	全日本新人選手権参加選手および関係者

イ）ドーピング検査活動

・FISAおよびJADAと連動し、海の森水上競技場で開催された「2019世界ジュニア選手権大会」においてドーピング検査を実施した。

・JADAの委託事業として、国内4大会において57検体についてドーピング検査を実施した。

ウ）その他活動

・ドーピング違反案件に対する対応および再発防止策を立案しホームページで周知した。

（4）指導者育成に関する事業

・公認スポーツ指導者養成事業

日本スポーツ協会公認コーチ養成事業による公認コーチ1および公認コーチ3養成講習会について、今年度は以下の日程で講習会を開催した。

講習会名	開催日程	開催場所
公認コーチ3養成講習会	前期：11/2（土）～4（月） 後期：1/11（土）～13（月）	埼玉県・戸田市
公認コーチ1養成講習会	前期：6/29（土）～30（日） 後期：11/30（土）～12/1（日）	静岡県・浜松市
資格更新義務研修	4/20（土）	中日本レガッタ
	5/4（土）	朝日レガッタ
	・東地区11/30（土）～12/1（日） ・東地区11/30（土）～12/1（日） ・西地区12/7（土）～12/8（日）	・高体連3地区 ・都道府県体協主催研修 ・都道府県ボート協会主催研修

（5）アスリートに関する事業

次の事業を継続して行った。

① トップアスリートの意見を集約し協会諸事業に反映する事業

・各委員会より適宜諮問される諸事項についてアスリートファースト並びにアスリートの環境改善につながる提言を行った。

・シニアおよびパラローイングの強化活動についてフィードバックをとりまとめ改善策を提案した。

② 本会主催諸事業に協力しボート競技の普及と発展に貢献する事業

・「海の森水上競技場完成記念レガッタ」の準備に参画し会場運営に携わった。また、式典およびレースにオリンピアンとして参加。

・「2019世界ジュニア選手権大会」ではアスリートに関わる会場運営、ケータリング、ディベロップメントキャンプ等について準備から大会運営に携わった。

・全日本大学選手権大会に併せ戸田市と連動して、ボートコース周辺のごみ拾い運動を企画し、運営した。その際、告知ポスターの作成を提案し、ごみ拾いと大会告知に努めた。

③ 女性アスリートの競技環境改善のための事業

・「2019世界ジュニア選手権大会」において、会場内の全ての女子トイレに生理用品を設置し、競技環境改善を図った。

・女性アスリートの意見を集約し、競技環境改善につなげるサポートを行った。また、11/30（土）には「女性アスリート向け研修」を開催し、150名が参加した。

３．普及本部関係事業

（１）普及に関する事業

① 全国ボート場所在市町村協議会との連携

・「ボート競技普及プロジェクト」の方針に基づき、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備に関する活動を行うとともに、2020東京オリンピック大会の事前キャンプ誘致についても連携し実施した。

② 関連団体の活動支援

・全国中学校ボート連盟および全国高等学校体育連盟ボート専門部に対し、中学生並びに高校生のボート競技振興を図るため、助成金交付と支援を行った。

③ オリンピアンの会活動

・JSC助成事業として、ボート競技普及を目的に「オリンピアンとエルゴファイト」と名称を変更し、9月に北海道・茨戸で、11月には宮崎県・新富町で実施した。

・「海の森水上競技場完成記念レガッタ」の式典およびレースにオリンピアンとして参加した。

（２）広報に関する事業

① 協会広報誌「ROWING」の発行

・今年度は、昨年に引き続き本会機関紙「ROWING」を6回発行した。

② 本会ホームページ

・タイムリーな報告と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、新たに「2019世界ジュニア選手権大会」のウェブサイトを立ち上げ展開した。

③ 報道機関、マスコミへの対応・協力

・外部からの取材並びにコンテンツ提供依頼に対し、今年度も積極的に情報ならびに画像・映像の提供を実施した。

・「2019世界ジュニア選手権大会」においてはプレスセンターを開設し国内外のメディア対応を実施した。

・2020東京オリンピック・パラリンピック大会に関連して、特に強化活動並びに日本代表選考に関するメディア対応を積極的に実施した。

④ 選手関係者・保護者・OB会への対応および協力

・広報委員会の情報発信用メーリングリスト登録者（約400人）に対し、レース予定や結果などタイムリーなリリースに努めた。

⑤ 写真コンテスト「ボートのある風景」の実施

・ボート競技並びに漕艇場水域の広報活動として、今年度も日本スポーツプレス協会会長の水谷章人氏を審査委員長として第３回コンテストを実施し、72人の応募があった。

（３）安全環境に関する事業

① 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

今年度は以下の日程で研修会を開催し、各水域や団体における安全責任者も受講の対象とした。

事業名	開催日程	開催場所	参加者数
セーフティアドバイザー研修	1月19日（日）	埼玉県・戸田市	37名
セーフティアドバイザー研修	2月9日（日）	熊本県・菊池市	13名

② 環境保全に関わる活動

ア）方針の策定

ボート競技を通じて環境の保全に取り組み、再生可能なスポーツ環境の実現に貢献することを目的として「環境方針」を策定した。

イ）海洋プラスチック拡散防止への取り組み

・「2019世界ジュニア選手権大会」開催に併せ、学童保育における環境教育活動並びにWWFとの協同事業として大会会場に啓蒙のための展示を行った。

・「全日本大学選手権大会」に併せ戸田市と連動して、海洋プラスチック拡散防止ポスターの掲示並びにごみ拾い運動を展開した。

（4）コースタルローイング委員会新設

・次回オリンピックから導入が予測されるコースタルローイングの普及を目的に今年度12月に開催された第三回定例理事会にて新設を決議した。

・2020年度からの本格的な活動に備え、国内拠点および競技艇の整備に向け活動を開始した。

4．パラローイング本部関係事業

今年度は以下の基本方針および基本計画により、選手強化事業を実施した。

① 2019シーズン基本方針について

・2020東京パラリンピック大会までに日本代表クルーの競技力向上を図り、出場権獲得の目安となる世界10位以内を目標としたが残念ながら未達成となった。

・目標達成のため、継続して心・技・体の観点で適切な指導を行うとともに練習環境の整備・支援を行った。

② 2019 シーズン基本計画について

・定時総会並びに国体時の都道府県連絡協議会において、各都道府県協会へ協力を要請し、選手の活動をサポートする体制を整備するとともに、選手の発掘を行った。

・国際大会への参加については世界選手権を始め 3 大会に派遣し国際競争力を強化した。

・サポートスタッフの充実を目的に、女性スタッフの増員、医科学情報サポートスタッフの大会への派遣および栄養・心理・フィジカルサポートを行った。

③ 国内選手強化合宿

実施月	事業名	開催予定地	対象選手
4月	4月強化合宿	岐阜県・川辺町	強化指定選手
6月	6月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
7月	7月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
8月	8月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
9月	9月強化合宿	東京都・NTC	強化指定選手

10月	10月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
11月	11月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
12月	12月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
1月	1月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
2月	2月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
3月	3月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手

④ 海外派遣計画

派遣期間	大会名	開催地
5/14（火）～21（火）	イタリア・インターナショナルレガッタ	イタリア・ガビラーテ
8/21（水）～9/3（火）	世界選手権	オーストリア・リンツ
10/18（金）～28（月）	アジア選手権	韓国・忠州

5．管理本部関係事業

（1）国際関係事業

① 国際審判派遣

・今年度は以下の国際大会に審判員を派遣した。

[FISA主催大会]

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
ワールドカップⅢ戦	7/12(金)～14（日）	オランダ・Rotterdam	松田雅彦（神奈川）
世界ジュニア選手権	8/7（水）～11（日）	日本・Tokyo	岩尾弘敏（北海道）
世界選手権	8/25（日）～9/1（日）	オーストリア・Linz	栗山俊久（東京）
世界マスターズレガッタ	9/12（木）～15（日）	ハンガリー・Velence	塚田秀樹（京都）
世界コーススタル選手権	11/1（金）～3日（日）	香港・Hongkong	千田隆夫（岐阜）

[ARF主催大会]

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
アジア沿岸ローイング	9/19(木)～23（月）	タイ・Pattaya	隈元幸治（東京）
アジア選手権	10/23（水）～27（日）	韓国・Chung-ju	市川愛（滋賀） 成田泰久（東京）
アジアジュニア・アジアカップ＆アジアマスターズ	12/16（月）～22（日）	タイ・Pattaya	山崎佳奈子（東京） 川崎健治（東京）

② 日韓交流事業

・今年度は、日本選手団を第8回忠州湖カップ（9/23～25）に派遣した。

③ FISAおよびARF総会への代表者派遣

・各連盟の事業方針、各国動向等最新情報を把握するため下記総会へ代表者を派遣した。

会議名	会議日程	開催国・会場地
国際ボート連盟(FISA)通常総会	9月2日	オーストリア・Linz
アジアボート連盟(ARF)総会	10月20日	韓国・忠州

④ JOC国際人養成アカデミーへの受講者派遣

・今年度も、国際ステージで活躍できる人材育成を目的に、受講生1名を派遣した。

⑤ ARF会長国であるタイ国ボート・カヌー協会と協力関係を強化し、将来のARF大会（アジアマスターズレガッタ等）の誘致活動へ繋げた。

⑥ 2019年アジアボート選手権（10/23～27・韓国忠州）への選手派遣

・ARFとの関係強化の為、男子8種目、女子6種目、総勢46名となる選手団を派遣した。

（２）財政基盤強化に関する事業

① 助成金について

・今年度は日本オリンピック委員会(JOC)・日本スポーツ振興センター(JSC)・戸田競艇事業者・東京都・ミズノスポーツ振興財団・安全協会・江副記念財団・日本財団等の諸団体よりご支援を頂いた。

② 強化募金について

・引き続き企業・団体並びに個人に対し、選手強化事業の目的および重要性について理解を求め支援をお願し、今年度は15百万円のご寄付をいただき、5年間の強化募金総額では157百万円となった。

③ 2019世界ジュニア選手権大会開催資金確保について

・収入計画に沿って、各種助成(JSC助成金・東京都助成金・ミズノスポーツ振興財団)およびスポンサー協賛金、寄付金を確保し大会運営の資金とした。

④ 収益事業の見直しについて

・2020年以降に向け既存収益事業の見直しとともに、公益法人としての事業継続・発展となる新たな収益確保について検討を行った。

（３）2020年に向けた事業

① 海の森水上競技場完成記念レガッタの実施

・「海の森水上競技場」の完成に合わせ、東京都が行う完成記念式典に併せ、本会主催による完成記念レガッタを開催した。

・英国よりオックスフォード大学並びにケンブリッジ大学クルーを招待し、そして国内の幅広い世代のクルーも含め、総計835名の参加者で大変盛会であった。

② 2019世界ジュニア選手権大会の開催

・2020東京オリンピック・パラリンピック大会のテストイベントとして、海の森水上競技場において、本会並びに東京都ボート協会主管で開催した。

・競技日程は8/7（水）～8/11（日）、51ヶ国、609名の選手の参加があり、総来場者数は大会期間中、総計17,904名となった。

・総事業規模は約4億円で、国内では2005年の世界選手権に次ぐ国際大会開催となった。

③ 2020東京オリンピック・パラリンピック大会関係事業

年度末に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会は約1年の延期となったが、今年度は次の活動を実施した。

・2020組織委員会にボート関係者5名の派遣と、新たにスポーツマネージャーとして、FISAより1名の派遣を実施した。

・オリンピック・パラリンピックのボート競技の成功に向け、テストイベントである世界ジュニア選手権大会の開催を含め、組織委員会並びに東京都オリンピック・パラリンピック準備局との連携強化を図った。

④ 創立100周年記念事業

・創設100周年を翌年に控え、創立100周年記念プロジェクトを中心に、海の森水上競技場完成レガッタ、競漕規則改定、記念式典、記念誌の編集等の各記念事業に取り組んだ。

⑤ JARA新ビジョン策定プロジェクトの活動

・JARAポスト100周年として、本会の中長期ビジョンを策定する目的で各方面にヒアリングを実施するなどプロジェクト活動を推進した。

（4）ガバナンス強化に関する事業

加盟上部団体より、本会のガバナンス並びにコンプライアンス体制、および制度については大きな問題はないとの評価を得ているが、より一層の体制強化並びに徹底を図る為、新たにスポーツ庁が策定した「NFガバナンスコード」に基づき再点検を行った。

① 公益法人に関する業務の推進

・公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定類の更なる整備をすると共に、その他の関連業務を継続して実施した。

② コンプライアンス、及びインテグリティの徹底

・強化の現場におけるコンプライアンスおよびインテグリティ教育について、JOC等主催の研修会並びに講習会参加による啓蒙活動を継続した。

・「協会弁護士による研修会」制度を所属団体等に広く周知し運用に努めた。

以上

2019年国際大会記録

ワールドカップ第1戦＜Plovdiv・Bulgaria＞							5月10日～5月12日		
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
M2x	中国	6分31秒32	ポーランド	6分33秒93	ベラルーシ	6分35秒95	栗原・山尾	6分39秒16	12位
LM2x	ベルギー	6分40秒40	ポーランド	6分42秒99	ポルトガル	6分43秒71	池田・西村(JPN2) 佐藤・武田(JPN1)	6分35秒27 6分41秒13	9位 10位
M1x	クロアチア	7分26秒90	ベラルーシ	7分33秒04	フィンランド	7分37秒29	荒川(JPN1) 櫻間(JPN2)	7分08秒31 7分20秒80	8位 11位
LM1x	ハンガリー	6分54秒55	ポーランド	7分01秒06	クロアチア	7分04秒89	新井	7分20秒26	8位
W2x	中国	7分14秒46	ベラルーシ	7分17秒97	キューバ	7分21秒99	榊原・米川	7分09秒65	敗復 5位
LW2x	中国	7分23秒04	オランダ	7分26秒97	ポーランド	7分28秒14	上田・山領(JPN2) 大石・冨田(JPN1) 角谷・高島(JPN3)	7分31秒88 7分17秒87 7分26秒36	5位 7位 10位
W2-	オランダ	7分22秒70	中国	7分23秒31	アメリカ	7分23秒56	高野・西田	7分40秒46	12位

ワールドカップ第3戦＜Nederland・Rotterdam＞							7月12日～7月14日		
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
LM1x	オーストラリア	7分53秒15	スロベニア	7分59秒18	イラン	8分04秒38	佐藤	7分59秒06	11位
M2x	スイス	6分41秒04	アイルランド	6分41秒74	イギリス	6分44秒95	荒川・山尾	6分47秒41	18位
LM2x	ドイツ	7分01秒59	アイルランド	7分01秒62	ノルウエー	7分02秒26	池田・西村	6分45秒81	16位
W1x	ニュージーランド	8分14秒03	スイス	8分18秒60	オランダ	8分28秒02	米川	8分18秒92	16位
LW1x	イギリス	8分43秒59	オーストラリア	8分45秒31	ドイツ	8分50秒38	冨田(JPN1) 上田(JPN2)	8分50秒44 8分42秒51	5位 8位
LW2x	ニュージーランド	7分38秒45	オランダ	7分45秒43	スイス	7分48秒02	大石・山領	7分44秒14	10位

U23世界選手権＜United States of America・Sarasota-Bradenton＞							7月24日～7月28日		
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
BM1x	ドイツ	6分54秒59	ギリシャ	8分56秒15	ノルウエー	6分56秒22	櫻間	7分41秒68	12位
BLM1x	アメリカ	7分06秒67	オランダ	7分06秒83	オーストリア	7分08秒92	新井	7分23秒54	13位
BM2x	イタリア	6分14秒84	ニュージーランド	6分15秒79	ロシア	6分20秒01	木村・遠山	6分38秒13	敗復 4位
BLW1x	イギリス	7分58秒28	ドイツ	7分59秒98	オーストリア	8分03秒32	四方	8分16秒26	13位
BW2-	ギリシャ	7分11秒67	南アフリカ	7分16秒24	ロシア	7分18秒35	高野・西田	7分34秒61	8位
BLW2x	スイス	7分03秒83	オランダ	7分09秒45	ドイツ	7分09秒56	角谷・高島	7分22秒59	9位

世界ジュニア選手権＜Japan・Tokyo＞							8月7日～8月11日		
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
JM1x	ベラルーシ	7分15秒98	ベルギー	7分18秒92	スイス	7分20秒61	鈴木	7分24秒25	16位
JM2x	オーストラリア	6分32秒81	ドイツ	6分34秒85	イタリア	6分36秒62	菅原・中條	6分58秒59	23位
JM4x	ドイツ	6分09秒96	イタリア	6分11秒54	ロシア	6分13秒18	青木・阿部・大下・島田	6分06秒01	14位
JW1x	ドイツ	8分31秒38	ロシア	8分38秒15	アメリカ	8分41秒90	上野	8分14秒44	15位
JW2x	オランダ	7分25秒50	中国	7分27秒66	リトアニア	7分30秒23	郡・武井	7分40秒81	18位
JW4x	ニュージーランド	6分54秒32	ドイツ	6分56秒71	ルーマニア	6分58秒76	加藤・川村・仲澤・松田	6分57秒99	13位

2019年国際大会記録

世界選手権＜Austria・Linz-Ottensheim＞									8月25日～9月1日
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
LM1x	イタリア	6分59秒48	ハンガリー	7分02秒37	オーストラリア	7分04秒55	武田	7分12秒42	18位
M2x	中国	6分05秒68	アイルランド	6分06秒25	ポーランド	6分07秒87	荒川・山尾	6分27秒52	21位
LM2x	アイルランド	6分37秒28	イタリア	6分39秒71	ドイツ	6分41秒07	池田・西村	6分37秒64	24位
LW1x	ドイツ	7分43秒98	日本	7分47秒28	イギリス	7分49秒82	冨田	7分47秒28	2位
LW2x	ニュージーランド	7分15秒32	オランダ	7分19秒51	イギリス	7分21秒38	上田・大石	7分04秒34	14位
PR1M1x	ウクライナ	9分12秒99	ロシア	9分19秒43	オーストラリア	9分23秒86	遠藤	11分00秒69	20位
PR1W1x	ノルウエー	10分18秒83	フランス	10分24秒07	イスラエル	10分30秒19	市川	12分29秒24	14位
PR3Mix4+	イギリス	7分09秒54	アメリカ	7分21秒61	イタリア	7分29秒34	有安・齊藤・西岡・八尾・立田	7分52秒72	14位

アジアジュニア選手権＜Thailand・Pattaya＞									12月18日～12月22日
種目	優勝		第２位		第３位		日本選手		
JM1x	韓国	7分01秒74	ウズベキスタン	7分02秒00	台湾	7分05秒39	菅原	7分20秒25	2位
JW1x	香港	7分42秒55	日本	7分53秒74	北朝鮮	7分54秒46	上野	7分53秒74	4位

2019年度国内大会記録

第97回全日本選手権大会〈埼玉・戸田ボートコース〉					2019年5月23日～5月26日	
種目	優勝		第２位		第３位	
M8+	NTT東日本	5分47秒51	トヨタ紡織	5分49秒79	東レ滋賀	5分50秒69
M4x	日本製鉄	6分25秒42	戸田中央総合病院RC	6分32秒01	仙台大学	6分33秒31
M4+	法政大学	6分54秒28	中部電力	6分56秒78	大阪府立大学	6分57秒37
M4-	仙台大学	6分28秒17	NTT東日本	6分31秒12	立教大学	6分31秒74
LM2-	明治大学	7分21長27	日本大学	7分21秒55	法政大学	7分28秒17
M2-	チョープロ	6分58秒35	中部電力	7分03秒02	慶應義塾大学	7分05秒42
LM2x	日本大学	7分13秒33	同志社大学	7分15秒92	東京経済大学	7分17秒59
M2x	NTT東日本	6分47秒46	アイリスオーヤマ	6分50秒10	今治造船	7分13秒53
M1x	中野(中野紘志RC)	7分15秒91	武田(関西電力)	7分24秒39	遠山(日本体育大学)	7分29秒88
W8+	立教大学	6分58秒19	明治大学	6分59秒33	陽進堂	7分01秒77
W4x	明治安田生命	6分56秒80	デンソー	7分01秒64	仙台大学	7分12秒79
LW2-	立命館大学	7分49秒43	富山国際大学	7分55秒73	仙台大学	7分57秒82
W2-	立命館大学	7分40秒82	一橋大学	7分51秒06	関西電力	7分52秒41
LW2x	鹿屋体育大学	7分27秒95	トヨタ自動車	7分29秒47	戸田中央総合病院RC	7分34秒53
W2x	トヨタ自動車	7分13秒37	関西電力	7分13秒43	日体ボート倶楽部	7分17秒15
W1x	大石(アイリスオーヤマ)	7分48秒39	西原(プリントパック)	7分55秒76	仲澤(若狭高校)	8分03秒29

2019年度国内大会記録

第69回全日本社会人選手権大会〈埼玉・戸田ボートコース〉					2019年7月6日～7月7日	
種目	優勝		第２位		第３位	
M8+	NTT東日本	5分48秒84	東レ滋賀	5分56秒51	中部電力	6分10秒16
M4x	明治安田生命	6分12秒41	NTT東日本	6分18秒65	今治造船	6分22秒79
M4+	明治安田生命	6分32秒74	日本製鉄	6分35秒02	警視庁	7分06秒70
M2-	明治安田生命B	7分13秒01	明治安田生命A	7分14秒93	東レ滋賀	7分17秒84
M2x	明治安田生命A	7分06秒56	戸田中央総合病院RC	7分07秒87	明治安田生命B	7分12秒90
M1x	櫻間(NTT東日本)	7分27秒27	大河原(明治安田生命)	7分31秒45	大元(アイリスオーヤマ)	7分32秒19
M1xOV40	後神(黄門RC)	8分12秒10	松岡(横浜市ボート協会)	8分17秒58	新井(三菱商事)	8分29秒14
M1xOV50	竹内(品川リフラクトリーズ)	8分03秒72	氏家(東京大学淡青会)	8分28秒09	服部(多摩川クラブ)	8分28秒95
M1xOV60	鴨井(パルテ会)	8分47秒71	那谷(魚崎RC)	8分56秒31	安達(瀬田漕艇クラブ)	8分58秒69
W4x	明治安田生命	6分51秒74	デンソー	6分54秒92	瀬田漕艇クラブ	7分06秒16
W2x	明治安田生命A	7分43秒67	明治安田生命B	7分46秒30	中部電力	7分48秒14
W1xOV40	1クルーのため実施せず					
W1x	川本(トヨタ自動車)	8分29秒95	西原(プリントパック)	8分32秒08	大西(デンソー)	8分33秒25
M1xB	増成(品川リフラクトリーズ)	3分36秒90	兼平(日本製鉄)	3分40秒96	安森(ハイデイ日高ボート部)	3分48秒45
M2xB	全諏訪	3分34秒37	三菱商事	3分54秒99	日本生命BC	3分55秒94
M4+B	東京海上日動A	3分31秒76	警視庁	3分32秒88	東京海上日動B	3分51秒46
W1xB	北村(チョープロ)	4分06秒35	市川(日本製鉄)	4分10秒73	石上(全諏訪)	4分16秒59

第39回全日本中学選手権競漕大会〈岐阜･長良川ボートコース〉					2019年7月20日～7月21日	
種目	優勝		第２位		第３位	
M4x+	潮来選抜	1分39秒72	愛知東郷BC	1分43秒49	城崎中	1分44秒45
M2x	瀬田北中	1分51秒76	大台中	1分52秒98	潮来選抜	1分53秒71
M1x	竹山(鳥取Jr.RCB)	1分52秒38	永井(ぎふJr.BC)	1分54秒23	山本(鳥取Jr.RCA)	1分55秒35
W4x+	津幡南中	1分51秒79	美浜中	1分51秒99	入野中	1分54秒66
W2x	ぎふJr.BC	2分02秒49	瀬田北中	2分04秒70	潮来選抜	2分06秒79
W1x	杉原(瀬田漕艇クラブ)	2分05秒58	三中(鳥取Jr.RC)	2分13秒12	八塚(今治RC)	2分14秒13

2019年度国内大会記録

第67回全日本高等学校選手権競漕大会〈熊本･斑蛇口湖ボートコース〉2019年8月17日～8月20日						
種目	優勝		第２位		第３位	
M4x+	加茂	3分09秒20	熊本学園大学付属	3分09秒42	関西	3分11秒91
M2x	若狭東	3分14秒57	日田三隈	3分15秒20	小見川	3分20秒57
M1x	林(東山)	3分30秒48	松川(今治北)	3分30秒86	小野寺(石巻)	3分32秒14
W4x+	美方	3分27秒98	松江北	3分31秒62	今治西	3分32秒64
W2x	美方	3分38秒05	南稜	3分39秒60	高島	3分41秒40
W1x	武井(諏訪清陵)	3分55秒82	中山(天竜)	3分56秒99	加藤(猿投農林)	4分01秒59

第46回全日本大学選手権大会〈埼玉・戸田ボートコース〉 2019年9月5日～9月8日						
種目	優勝		第２位		第３位	
M8+	中央大学	5分46秒51	仙台大学	5分47秒78	明治大学	5分48秒91
M4x	仙台大学	6分06秒29	富山国際大学	6分.8秒67	明治大学	6分08秒93
M4+	同志社大学	6分34秒24	立教大学	6分35秒93	早稲田大学	6分36秒96
M4−	仙台大学	6分31秒84	日本大学	6分33秒67	明治大学	6分34秒20
M2−	早稲田大学	7分25秒62	法政大学	7分28秒31	明治大学	7分35秒26
M2x	仙台大学	6分45秒97	東京海洋大学	6分49秒34	日本大学	6分50秒10
M1x	一瀬(仙台大学)	7分17秒02	吾郷(松江工業高専)	7分20秒91	阿部(早稲田大学)	7分27秒10
W4x+	早稲田大学	6分54秒52	中央大学	6分57秒99	仙台大学	7分02秒03
W4+	立命館大学	7分10秒46	日本体育大学	7分16秒96	仙台大学	7分22秒14
W2−	早稲田大学	8分13秒07	富山国際大学	8分13秒77	東京経済大学	8分21秒81
W2x	立教大学	7分24秒40	法政大学	7分26秒69	富山国際大学	7分27秒27
W1x	高島(明治大学)	8分15秒19	松井(早稲田大学)	8分28秒14	菅沼(龍谷大学)	8分31秒75

第59回オックスフォード盾レガッタ〈埼玉・戸田ボートコース〉 2019年9月7日～9月8日						
種目	優勝		第２位		第３位	
M8+	NTT東日本	5分38秒20	関西電力	5分47秒28	明治安田生命	5分47秒98

2019年度国内大会記録

第74回国民体育大会 夏季大会<茨城・潮来ボートコース>					2019年10月4日～10月7日
種目	優勝		第５位		備考
少年M4x+	静岡県選抜(静岡)	3分24秒60	埼玉選抜(埼玉)	3分27秒23	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	岡山選抜(岡山)	3分27秒51	滋賀選抜(滋賀)	3分29秒42	準決勝の1着が1位
	福井選抜(福井)	3分32秒62	愛媛選抜(愛媛)	3分33秒14	準決勝の2着が5位
	京都選抜(京都)	3分15秒15	富山選抜(富山)	3分17秒33	記録は準決勝のもの
少年M2x	滋賀選抜(滋賀)	3分40秒27	岡山選抜(岡山)	3分43秒56	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	福井選抜(福井)	3分41秒53	千葉県選抜(千葉)	3分45秒39	準決勝の1着が1位
	大分選抜(大分)	3分23秒95	岩手選抜(岩手)	3分27秒86	準決勝の2着が5位
	京都選抜(京都)	3分20秒42	埼玉選抜(埼玉)	3分22秒10	記録は準決勝のもの
少年M1x	博田(鳥取)	4分05秒60	高橋(岩手)	4分07秒83	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	中條(山形)	4分09秒79	沢目(東京)	4分13秒31	準決勝の1着が1位
	小野田(島根)	3分41秒40	林(京都)	3分46秒98	準決勝の2着が5位
	近藤(長野)	3分44秒79	藤崎(茨城)	3分50秒57	記録は準決勝のもの
少年W4x+	福井選抜(福井)	3分53秒54	鳥取県選抜(鳥取)	3分57秒93	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	静岡県選抜(静岡)	3分54秒72	愛媛選抜(愛媛)	3分57秒47	準決勝の1着が1位
	東京選抜(東京)	3分40秒03	福島選抜(福島)	3分44秒31	準決勝の2着が5位
	埼玉選抜(埼玉)	3分42秒66	長崎選抜(長崎)	3分45秒42	記録は準決勝のもの
少年W2x	岐阜選抜(岐阜)	4分10秒55	岩手選抜(岩手)	4分27秒21	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	福井選抜(福井)	4分16秒40	京都選抜(京都)	4分37秒58	準決勝の1着、2着が1位
	愛媛選抜(愛媛)	4分11秒04	唐津ジュニアRC(佐賀)	4分21秒30	準決勝の3着、4着が5位
	滋賀選抜(滋賀)	4分15秒43	埼玉選抜(埼玉)	4分35秒26	記録は準決勝のもの
少年W1x	松田(福岡)	4分40秒28	渡部(新潟)	4分49秒39	決勝、5～8位決定戦中止のため、
	武井(長野)	4分35秒70	沖田(島根)	4分38秒57	準決勝の1着が1位
	西野(福井)	4分13秒62	加藤(愛知)	4分14秒55	準決勝の2着が5位
	落合(滋賀)	4分10秒01	野里常(京都)	4分17秒46	記録は準決勝のもの
成年男子 成年女子	中止				

2019年度国内大会記録

第60回全日本新人選手権大会〈埼玉・戸田ボートコース〉					2019年10月26日～10月28日	
種目	優勝		第２位		第３位	
M8+	明治大学	6分06秒88	仙台大学	6分09秒00	早稲田大学	6分11秒23
M4+	日本大学	6分54秒04	早稲田大学	6分58秒66	東京経済大学	7分03秒22
M2x	富山国際大学	7分06秒35	東京経済大学A	7分11秒59	明治大学	7分20秒57
M1x	兼康(関西電力A)	7分26秒38	福井(日本大学C)	7分30秒87	小野田(松江工業高専)	7分34秒46
W4x+	明治大学	7分19秒91	成立学園高校	7分20秒21	関西電力	7分22秒15
W2x	法政大学A	7分53秒52	立命館大学	7分57秒90	中央大学C	7分59秒62
W1x	菅沼(龍谷大学A)	8分26秒79	関(中部電力)	8分28秒05	森井(名古屋大学)	8分29秒28

第31回全国高校選抜大会〈静岡・天竜ボート場〉			2020年3月20日～3月22日
種目	優勝	第２位	第３位
M4x+	大会中止		
M2x			
M1x			
W4x+			
W2x			
W1x			

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和２年３月３１日

公益社団法人　日本ボート協会